

新国立劇場『焼肉ドラゴン』金 時生役オーディションのお知らせ

新国立劇場では、2025年に日韓国交正常化 60 周年を迎えることを記念し、日韓合同公演『焼肉ドラゴン』を上演いたします。つきましては、このたび新たに「金 時生」役を募集いたします。下記要項をご確認の上、ぜひオーディションにご応募いただけますと幸いです。

<公演概要>

作品名:『焼肉ドラゴン』

作・演出:鄭 義信

▶公演日程:2025年10月～12月 東京公演～最大12月28日まで全国公演の可能性あり

▶稽古日程:2025年8月下旬稽古開始予定 於:新国立劇場内リハーサル室

▶公演会場:新国立劇場 小劇場 ほか

<作品概要>

『焼肉ドラゴン』は、日本で万博が開催された高度経済成長に踊る1970年前後、関西の焼肉屋を舞台に、ある在日コリアンの家族を通して、日韓の過去、現在、未来を、音楽入り芝居でおかしく、そして哀しく切なく描いた作品です。高度経済成長で輝く未来を信じ沸き立つ世間の裏側で、日々ただ懸命に生きた市井の人々を描いた、いわば日本の影の戦後史。日韓両国の俳優が参加する合同公演として、2008年、2011年、2016年に、東京・兵庫・北九州・ソウルで上演され、毎回スタンディング・オベーションとなる熱狂的な支持を受けました。今回は、日韓国交正常化60周年を迎える2025年を記念しての再演となります。

<あらすじ>

万国博覧会が催された1970(昭和45)年、関西地方都市。高度経済成長に浮かれる時代の片隅で、焼肉屋「焼肉ドラゴン」の赤提灯が今夜も灯る。

店主・金 龍吉は、太平洋戦争で左腕を失ったが、それを苦にするふうでもなく淡々と生きている。

家族は、先妻との間にもうけた二人の娘、静花と梨花、後妻・英順とその連れ子・美花、そして、英順との間に授かった一人息子の時生・・・ちょっとちぐはぐな家族と、滑稽な客たちで、今夜も「焼肉ドラゴン」は賑々しい。ささいなことで泣いたり、いがみあったり、笑いあったり・・・。

そんな中、「焼肉ドラゴン」にも、しだいに時代の波が押し寄せてくる。

<登場人物>

金 龍吉(キム・ヨンギル)	「焼肉ドラゴン」店主(56 歳)/韓国人俳優
高 英順(コ・ヨンスン)	龍吉の妻(42 歳)/韓国人俳優
金 静花(きん・しずか)	長女(35 歳)
金 梨花(きん・りか)	次女(33 歳)
金 美花(きん・みか)	三女(24 歳)/韓国人俳優
金 時生(きん・ときお)	長男(15 歳)
清本(李)哲男(きよもと(り)てつお)	梨花の夫(40 歳)
長谷川 豊(はせがわ・ゆたか)	クラブ支配人(35 歳)
尹 大樹(ユン・テス)	静花の婚約者(35 歳)/韓国人俳優
呉 信吉(ご・しんきち)	常連客(40 歳)
呉 日白(オ・イルバク)	信吉の親戚(38 歳)/韓国人俳優

高原 美根子(たかはら・みねこ)

高原 寿美子(たかはら・すみこ)

阿部 良樹(あべ・よしき)

佐々木 健二(ささき・けんじ)

長谷川の妻(53 歳)

美根子の妹・市役所職員(50 歳)

アコーディオン奏者(37 歳)

太鼓奏者(35 歳)

<作・演出家 鄭義信よりメッセージ>

『焼肉ドラゴン』時生オーディションを受けようと思っている君へ

僕は正直言えば、オーディションが嫌いだ。君も、たった数分の面接や、短い台詞の読み合わせで、「おれのなにがわかるんだよお!」と、憤懣の声をあげたくなるだろう。たしかに、慌ただしい遭遇では、君の得意とすることはなんなのか、君の美点はどこにあるのか、わかるはずもない。

今回のオーディションも、君の要望に応えられるものでないだろう。でも、僕が求めているのは、輝くような才能でもなく、飛びぬけた演技力でもない。『焼肉ドラゴン』という物語の中、家族の浮沈みを静かに見守る、時生という魂がほしいのだ。上手い、下手ではない、この在日コリアンの家族と寄りそい、ともに笑い、ともに涙する魂がほしいのだ。

僕がオーディションが嫌いな最大の理由は、たった一人を選ぶために、君たちの大勢をふるい落とさなければならぬことだ。残酷で、とてもつらい作業である。けれど、君かもしれない、他の誰かかもしれない時生と出会うために、僕は今回、真摯に立ちあおうと思っている。

まだ見ぬ時生君、僕に会いに来てください。僕に君の思いを伝えに来てください。

[作家・演出家プロフィール]

鄭 義信(ちょん・ういしん)

1993 年に『ザ・寺山』で第 38 回岸田國士戯曲賞を受賞。その一方、映画に進出して、同年『月はどっちに出ている』の脚本で、毎日映画コンクール脚本賞、キネマ旬報脚本賞などを受賞。98 年には、『愛を乞うひと』でキネマ旬報脚本賞、日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第一回菊島隆三賞、アジア太平洋映画祭最優秀脚本賞など数々の賞を受賞した。さらに平成 13 年度芸術祭賞大賞受賞を受賞した『僕はあした十八になる』(01/NHK)などテレビ・ラジオのシナリオでも活躍する一方、エッセイ集『アンドレアスの帽子』なども出版。2018 年には自ら初監督を担い、『焼肉ドラゴン』を映画化した。

現在も、文学座、こんにゃく座ほかに戯曲を提供する傍ら、21 年に浅草九劇をホームグラウンドとした新劇団ヒトハダを旗揚げ。近年では 23 年に、ポン・ジュノ監督の世界的ヒット映画『パラサイト 半地下の家族』を舞台化。24 年は『欲望という名の電車』(演出)、『男たちの挽歌』(脚本・演出)がある。新国立劇場では、『たとえば野に咲く花のように』『アジア温泉』の作、『焼肉ドラゴン』『パーマ屋スマイル』『赤道の下のマクベス』の作、演出を務め、初演の『焼肉ドラゴン』で、第 16 回読売演劇大賞優秀演出家賞、第 12 回鶴屋南北戯曲賞、第 43 回紀伊國屋演劇賞、第 59 回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

また、日本から韓国への招聘公演だけでなく、10 年『赤道の下のマクベス』、14 年『歌うシャイロック』(『ベニスの商人』を音楽劇に翻案)、15 年『コーカサスの白墨の輪』(唱劇形式に翻案)など、韓国芸術団体への書下ろしも多数ある。

参考資料: 戯曲と映像が入手可能です。

「鄭 義信戯曲集」 <https://littlemore.co.jp/isbn9784898153659>

映画「焼肉ドラゴン」

<オーディション概要>

1. 募集内容 男性役 1 名

●金 時生

15歳。在日コリアン二世。異母姉二人と異父姉一人がいる四人姉弟の末っ子であり、金家の長男として可愛がられている。いい教育を受けさせたいという父親の方針で私立の中学校に通っているが、いじめにあい、失語症となり、学校もさぼりがちな状態である。

2. 応募資格 下記条件をすべて満たしている方

- ・18歳以上～35歳までで、15歳に見える方
- ・身長170cmくらいまで
- ・舞台出演経験のある方
- ・**2025年8月下旬～12月末までの稽古・本番すべてに参加可能な方**
- ・「5. 選考の流れ」の項に明記されているオーディションに以下の条件で参加できる方
 - 一次選考＝開催期間 3 日間のうち、**2 日以上参加できること**
 - 二次選考＝開催期間 2 日間のうち、**両日 2 コマ以上に参加できること**

3. 応募期間 **2024年9月2日(月)12:00～9月11日(水)23:59まで ※オンライン受付のみ**

4. 応募方法 エントリーシートをご記入の上、下記フォームよりエントリーしてください。

エントリーフォーム URL: <https://nntt.form.kintoneapp.com/public/dragon2025-audition>

【エントリーシート(所定用紙)】

- ・オーディション概要 [▶PDF](#)
- ・エントリーシート [▶Excel](#)

※所定のエントリーシート以外エントリーは受け付けません。

※フォームの記入事項、エントリーシート、写真に不備があった場合は、エントリーを受け付けません。

※規定の Excel 形式のものを **PDF 形式**にして添付してください。

※添付時にはファイル名を「**ES お名前**」にしてください。(例:ES 新国太郎.pdf)

※『焼肉ドラゴン』のセリフは、関西弁になるため、参考として出身地を記入いただきます。

なお、オーディション時に、正確なイントネーションでセリフを言う必要はありません。

【ご連絡先メールアドレスについて】

・選考結果や選考参加日などはすべてメールにてのお知らせとなります。お知らせいただくメールアドレスは、nntt.drama.audition@nntt.jac.go.jpからのメールが受信可能な状態に設定してください。

5. 選考の流れ

●書類選考 選考結果は書類選考が終わり次第、**9月27日(金)までに**、メールにてご連絡いたします。

●一次選考(グループオーディション)

対象者:書類選考通過者

日程:**10月3日(木)～10月5日(土) ※詳細な時間枠についてはエントリーフォームをご参照ください**

- | | |
|---|------------------------------|
| { | 10月3日(木) 13:00～20:30 70分×5コマ |
| | 10月4日(金) 10:50～15:40 70分×3コマ |
| | 10月5日(土) 10:50～20:30 70分×6コマ |

審査形態：グループオーディション

審査内容：『焼肉ドラゴン』時生モノローグ

※『焼肉ドラゴン』のセリフは、関西弁となりますが、オーディション時は正確なイントネーションでセリフを言う必要はありません。

一次選考結果は10月7日(月)までに、メールにてご連絡いたします。

●二次選考

対象者：一次選考通過者

日程：**10月10日(木)～10月11日(金)** ※詳細な時間枠についてはエントリーフォームをご参照ください

{ 10月10日(木) 15:00～20:20 80分×3コマ
10月11日(金) 11:00～16:20 80分×3コマ

審査形態：グループオーディション

審査内容：『焼肉ドラゴン』時生モノローグ、他、指定の台本ダイアログ

※『焼肉ドラゴン』のセリフは、関西弁となりますが、オーディション時は正確なイントネーションでセリフを言う必要はありません。

二次選考結果は10月15日(火)23:00までに、メールにてご連絡いたします。

【オーディション参加時の諸注意】

- ・37.5℃以上の発熱があった場合は、絶対に無理はせず、ご来館をお控えください。
- ・すべてのオーディションに、演出家と新国立劇場のプロデューサーが参加します。
- ・すべてのオーディションについてビデオ記録を行います。記録はオーディション終了後、速やかに削除します。

6. 問合せ先

新国立劇場 制作部演劇 オーディション係

TEL:03-5352-5845 [平日11:00～18:00]

E-mail: nntt.drama.audition@nntt.jac.go.jp

[よくあるご質問]  [PDF](#)